



世界に広がるよさこい ～高知県のよさこい国際化政策～

高知県観光振興部国際観光課

世界に広がるよさこい

1954年に高知市で戦後経済復興の足掛かりとなることを目指して誕生したよさこい祭りは、1990年代に札幌市のYOSAKOIソーラン祭りなど国内の各地の文化と融合したよさこいに発展したことをきっかけに国内外に急速に広まりました。

現在では、国内では約200か所、海外では29の国・地域で踊られる世界的な祭りへと成長しました。

高知県では、よさこいの知名度をさらに向上させ、外国人観光客の誘客につなげるため、よさこいアンバサダー制度やよさこいマイスター制度などを設けています。

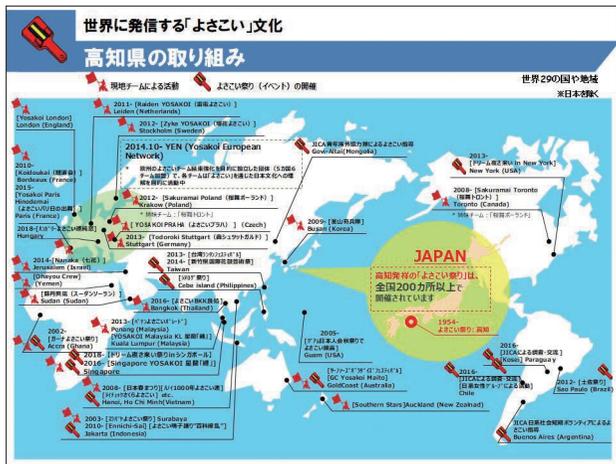
19か国、23チーム、65人の方をよさこいアンバサダーとして認定しています。



2016年のよさこいアンバサダー認定式

よさこいアンバサダーの方々に体験していただくプログラムには、よさこい祭りに出場するよさこいチームに参加して踊ることや地方車(じかたしゃ)*の体験などがあります。

※華やかに装飾したトラックで、踊り子を誘導します。トラックの上ではギターや和太鼓といった楽器による演奏も行われ、チームの個性が色濃く出ます。



世界でよさこいが踊られている国・地域 / 2019年7月末時点

よさこいアンバサダー制度

2016年度に創設されたよさこいアンバサダー制度は、海外においてよさこいチームを結成し、よさこいを普及・指導している方をよさこいアンバサダーとして認定するため、高知へお招きし、よさこい発祥の地高知のよさこい祭りを実際に体験していただくものです。

2016年度に6か国、7チーム、19人の方々から始まったよさこいアンバサダー制度は2019年度までに



よさこいチームにて踊りの練習をするよさこいアンバサダーの皆さん



よさこいアンバサダーの皆さんが乗車した地方車

また、踊りの体験だけでなく、裏方体験もしていただき、祭りを支えるスタッフの役割や思いを知ってもらうこととしています。

2019年8月8日には、よさこいアンバサダー交流会を実施しました。この交流会では、2018年度までによさこいアンバサダーとして認定された方々、よさこいアンバサダーをチームの一員として受け入れるよさこいチームの方々、よさこいの運営を体験させていただき、よさこい競演場の代表者など多くの方々に参加いただき、言葉の壁も越えて交流を行いました。



よさこいアンバサダー交流会で記念撮影をする皆さん

よさこいマイスター制度

よさこいマイスター制度は、海外によさこいを普及するため、主に国内のよさこいの指導者が、外国の方に対してよさこいの指導を行うものです。

よさこいマイスターは、2017年7月に3人の方を登録して以降、2019年8月現在14人の方を登録しています。

よさこいマイスターの活動実績として、2019年度はJICA 駒ヶ根訓練所やフランスでよさこいを指導し、フランスのJapan Expo でよさこい演舞を行いました。



フランス Japan Expo でのよさこいチームの皆さん

よさこいチームの海外への派遣について

また、本県では、発祥の地高知のよさこいを海外の方に知っていただくため、高知県内のよさこいチームを海外に派遣しています。2018年度は台湾やフランスに派遣し、好評を得ました。



台湾ランタンフェスティバルに参加するよさこいチームの皆さん

これからのよさこいについて

今年のよさこい祭りには、県が把握しているだけで海外27の国・地域から約150人の方に参加いただきました。また、参加チームの中にはよさこいアンバサダーが創設し、日本を含め18の国・地域の方から構成される海外チームもあります。

今後とも、より多くの外国の方々に高知のよさこい祭りに参加・体感いただくとともに、さらによさこいの海外でのネットワークを世界に広げ、本県の認知度向上および外国人観光客の誘客につなげていきたいと考えています。